

## 12月うぶやま天文台星空情報②

# 月が土星、木星に接近

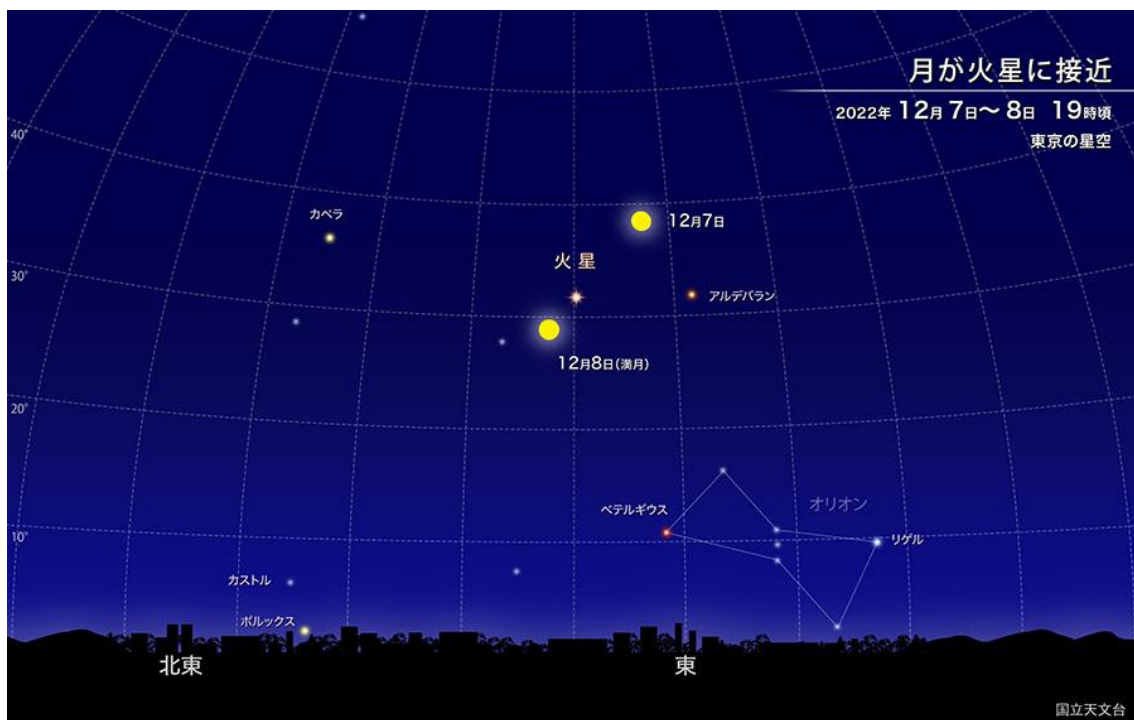


天空が広がるうぶやまの高原は冷たい北風が吹き出し、厳しい冬の到来です。12月に入り、雲が低く初冬の空です。産山では朝夕気温が零下の季節になりました。陽が早く暮れ、夜空はすっかり冬の星空になり、非常に寒いですが素晴らしい星空が望める季節になりました。

12月のうぶやま天文台の星空情報の第2弾は、12月7日～8日にかけて満月が衝を迎えた火星に接近する情報です。火星がちょうど衝（12月8日）を迎える頃、12月7日から8日にかけて月がこの火星に近づきます。12月8日は満月でもあり、満月と寄り添うように赤っぽく明るく輝く火星が目を引きくことでしょう。

満月と衝は地球から見た天体が太陽と反対方向側になるという意味で同じ現象です。同じ日に起こるのは単なる偶然ですが、地球から同じ方向に見えるわけですから、この日に月と火星が近づいて見えるのも納得でしょう。

月と火星が最も接近するのは12月8日の正午過ぎで、日本では昼間で見ることできません。日本で見えるのは、8日の夕方の月の出の直後で、その後、月と火星は高い空へ昇っていきながら少しずつ離れていきます。



満月が火星に接近